

平成22年度における契約状況のフォローアップ

平成23年8月  
独立行政法人自動車事故対策機構

1. 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

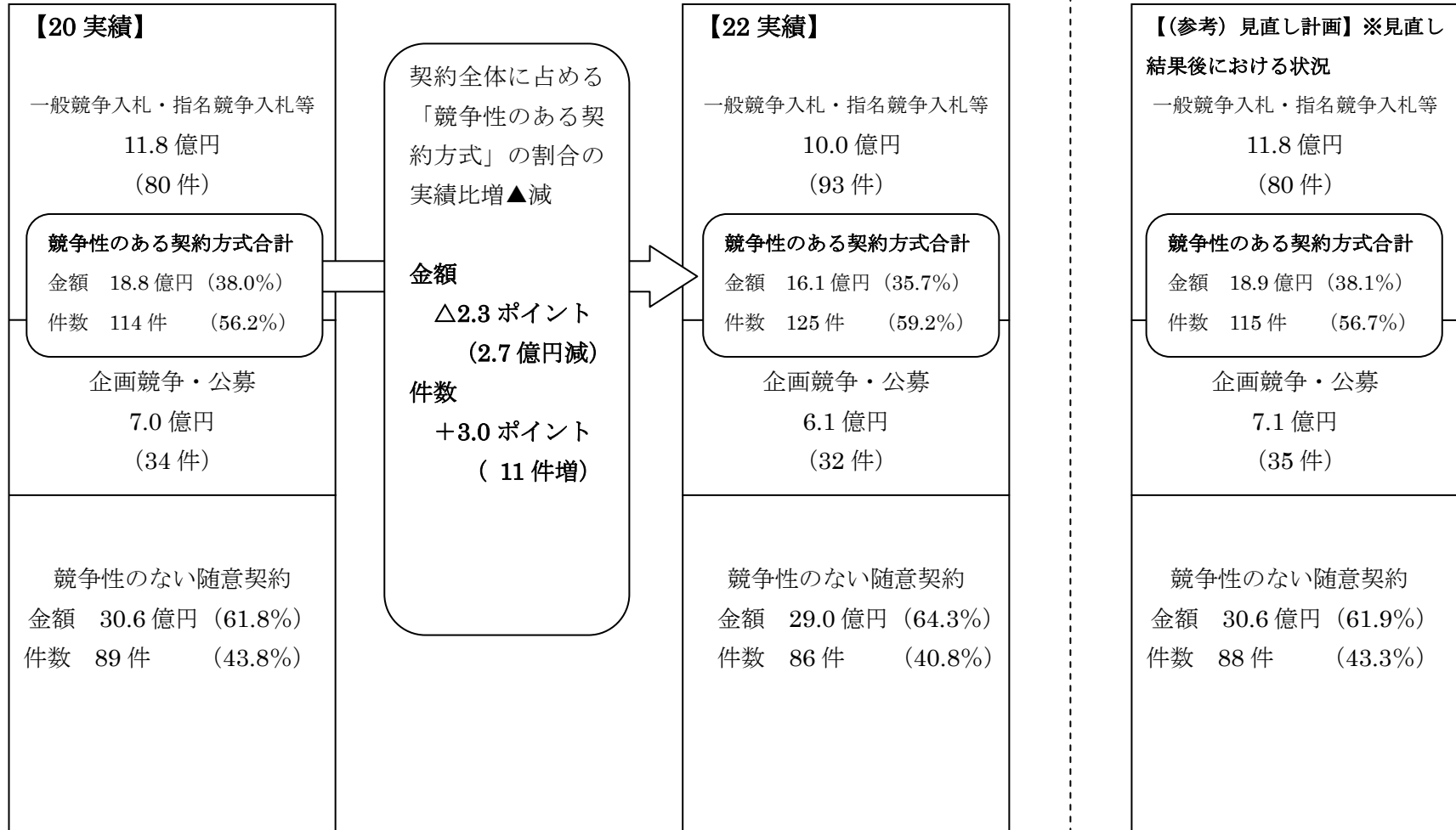
	平成20年度		平成22年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(39.4%) 80	(23.8%) 11.8	(44.1%) 93	(22.2%) 10.0	(16.2%) 13	(△15.3%) △1.8	(39.4%) 80	(23.9%) 11.8
企画競争・公募	(16.7%) 34	(14.1%) 7.0	(15.2%) 32	(13.5%) 6.1	(△5.9%) △2	(△12.9%) △0.9	(17.2%) 35	(14.2%) 7.1
競争性のある契約 (小計)	(56.2%) 114	(38.0%) 18.8	(59.2%) 125	(35.7%) 16.1	(9.6%) 11	(△14.4%) △2.7	(56.7%) 115	(38.1%) 18.9
競争性のない 随意契約	(43.8%) 89	(61.8%) 30.6	(40.8%) 86	(64.3%) 29.0	(△3.4%) △3	(△5.2%) △1.6	(43.3%) 88	(61.9%) 30.6
合 計	(100%) 203	(100%) 49.5	(100%) 211	(100%) 45.1	(3.9%) 8	(△8.9%) △4.4	(100%) 203	(100%) 49.5

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の( )書きは、平成22年度の対20年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成21年11月17日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成20年度と平成22度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

## 2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

件数割合：見直し計画を達成している。

金額割合：競争性のない随意契約の金額割合が達成しなかった理由は、真にやむを得ないものを除き、競争性のない随意契約から一般競争入札等への移行を行ってきた結果、契約金額については目標を達成したものの、移行した一般競争入札等の契約金額が減少し、母数である総契約金額も減少したことで、競争性のない随意契約の割合が相対的に高まったためである。

## 3. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

### ① 一般競争入札へ移行

該当なし

### ② 指名競争入札へ移行

該当なし

### ③ 企画競争へ移行

会計監査人との監査契約（会計監査人の選定基準に基づき公募を行い、企画提案の審査結果により候補者を選出し、主務大臣の選任を受けていることから企画競争とした。）

### ④ 公募へ移行

該当なし

#### 4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 22 年度	比較増△減
2 者以上	件数	80 (70.2%)	92 (73.6%)	12 (15.0%)
	金額	11.7 (61.9%)	10.0 (62.1%)	△1.7 (△14.5%)
1 者以下	件数	34 (29.8%)	33 (26.4%)	△1 (△2.9%)
	金額	7.2 (38.1%)	6.1 (37.9%)	△1.1 (△15.3%)
合 計	件数	114 (100%)	125 (100%)	11 (9.6%)
	金額	18.9 (100%)	16.1 (100%)	△2.8 (△14.8%)

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注 3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

#### 5. 一者応札、一者応募に係る改善方策

(URL <http://www.nasva.go.jp/choutatu/documents/zuikei-issaha-kaizen.pdf>)